

事業評価書

補助事業名	市道屋部1号線道路改良工事										
補助事業者名	名護市長										
実施場所	名護市字屋部地内										
補助事業の目的	<p>市道屋部1号線は、国道449号を起点とし、屋部中学校を終点とする延長260mの集落内の道路である。しかし、全長260mのうち120mは未整備区間となっており、幅員が5mと狭く、車両のすれ違い登下校時の歩行者の安全保持に支障をきたしており、地域及び屋部中学校からも早急な整備必要とされている。</p> <p>本線を整備することにより、地域及び通勤通学路としての安全の確保、利便性の向上が図られる。</p>										
補助事業の内容	道路改良工事 車道・歩道 L=119.65m W=9.0m										
補助事業の始期及び終期	平成29年度										
事業費及び交付金額		29年度									計
	事業費	円 18,082,440	円	円	円	円	円	円	円	円	円 18,082,440
	交付金額	円 18,082,000									円 18,082,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を実施したことにより地域交通の円滑化を図ることと歩道設置により歩車分離を行い歩行者の安全確保ができた。本事業完了後、地域にアンケート調査を実施したところ、回答者から「走行性・歩行性が良くなった」「生徒が安全に登下校できるようになった」等の意見が寄せられていることから安全性の確保及び利便性が向上していると評価する。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ及び工事着手前の配布チラシ、工事用看板へ本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金である旨を記載し、地域住民への周知を図った。 										
事業の改善策及び今後の対応	今後も安全で円滑な交通の確保を図るために維持管理に努める。										
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し										

事業評価書

補助事業名	屋我地ひるぎ学園ほか10校物品購入		
補助事業者名	名護市長		
実施場所	名護市字饒平名、字田井等、字中山、宮里、大西、字幸喜、大北、字仲尾次、字屋部地内		
補助事業の成果の目標	<p>○ 屋我地ひるぎ学園(体育館備品) 体育館備品は購入から14年から41年以上経過して老朽化が進んでおり、授業及び学校行事に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 名護小学校、瀬喜田小学校、大北小学校、屋部中学校、名護中学校及び大宮中学校(カーテン) 上記の学校の普通教室、特別教室及び体育館は未だカーテンが設置されていないことから、授業に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 羽地小学校、屋部小学校中山分校、大宮小学校、名護小学校、羽地中学校及び屋部中学校(給食備品) 上記の学校にある配膳台は購入から19年から38年以上経過して老朽化が進んでおり、屋部小学校中山分校にある廊下用運搬車は購入から20年以上経過して老朽化しており、安全・安心な給食の提供に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 羽地小学校、大北小学校、屋部中学校(生徒用机・イス) 羽地小学校、大北小学校及び屋部中学校にある生徒用机・イスは老朽化が進み(羽地小学校は平成19年度購入、大北小学校は不明、屋部中学校は平成16年度購入)、授業に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 屋部小学校中山分校、大北小学校(角イス・丸イス) 屋部小学校中山分校及び大北小学校の理科室にある角イスは老朽化が進み(屋部小学校中山分校は昭和60年度購入、大北小学校は平成6年度購入)、大北小学校の家庭科室にある丸イスは平成6年度に購入し老朽化が進み、授業に支障をきたしている状況である。</p> <p>以上の課題改善に向け、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備する。</p>		
補助事業の内容	体育館備品、カーテン、給食備品、生徒用机・イス、角イス・丸イス 一式		
補助事業の始期及び終期	平成29年度		
事業費及び交付金額		29年度	計
	事業費	18,334,080 円	18,334,080 円
	交付金額	18,330,000 円	18,330,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、授業を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、小中学校の教師へアンケートを実施したところ、「用具が整った為、児童生徒に十分な運動量と技術面を多く学ばせることができるようになった。」や「カーテンが整備されたことで、直射日光が遮られ授業に集中して取り組むことができる。また、ICT等の活用の際に、画面に光が反射することなく、効果的に活用することができ、授業への興味関心も高めることができた。」等の回答が得られており、安定的に授業を行える環境が整ったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知】 保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>		
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した備品を適切に管理していく。		
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無		